

専攻科入学案内

専攻科の設置

高等専門学校制度は、工業技術の発展を支える実践的技術者の養成を目指す高等教育機関として昭和37年に創設されました。平成3年7月「学校教育法の一部を改正する法律」に基づき、主として高等専門学校を卒業した方を対象に、より高度な教育・研究指導を行い、研究開発能力、創造力をもった実践的技術者を育成するとともに、社会人技術者を対象にリフレッシュ教育を行うことをも目的として専攻科が創設されました。本校専攻科は電子機械工学専攻および応用物質工学専攻で編成され、平成5年4月に設置されました。

アドミッション・ポリシー（入学者受入れ方針）

1 専攻科の教育方針

21世紀を迎えた今、科学技術の高度化と国際化の進展により、技術者教育を担う高等専門学校には、新たな展開が求められています。技術の高度化・融合化を踏まえ、高度な専門技術・研究開発能力と共に多分野の幅広い基礎技術をあわせもち、さらに、優れた倫理観、国際的センスを身につけた技術者が強く望まれています。そこで、本校専攻科では、次のような教育方針に基づき、科学技術の分野で国際的に活躍できる実践的技術者の育成をめざしています。

- (1) 幅広い基礎技術と高度な専門知識を有し、広い視野から社会の変化に的確に対応できる技術者の育成
- (2) 新しい価値を創造する力を備え、研究開発能力、課題探求能力を有し、社会に貢献できる意欲的な技術者の育成
- (3) 社会に対する責任を自覚でき、優れた倫理観をもった技術者の育成
- (4) 日本語および英語によるコミュニケーション能力をもった技術者の育成

2 求められる志願者像

本校専攻科の教育方針に共感し、

- ・ 自然科学に興味をもち、将来の科学技術の発展に夢を抱く人
- ・ 自らの向上を目指して継続的に自己学習ができる人
- ・ 豊かな想像力と行動力をもった人
- ・ 論理的に物事を考えることができる人
- ・ 英語学習に情熱をもち、国際社会で活躍してみたい人

の入学を歓迎します。

3 複合型生産システム工学プログラムの推進

本校専攻科では前記の教育方針のもと、国際的に活躍できる創造性豊かな実践的技術者を育成すべく、それぞれの専攻ごとの教育に励んでいます。

また、絶え間ない教育システムの改善・向上を目指し日本技術者教育認定機構（Japan Accreditation Board for Engineering Education：略称 JABEE）の認定を踏まえた「複合型生産システム工学プログラム」（学科の4、5学年および専攻科1、2年次における4年間の教育プログラム）を構築しています。このため、専攻科を修了するためにはこのプログラムの修了要件を満たすことが必要となります。詳しくは鈴鹿高専ホームページ<http://www.suzuka-ct.ac.jp> をご覧ください。

なお、JABEEの認定プログラムを修了した場合には、技術士の一次試験が免除されます。

専攻および入学定員

電子機械工学専攻	12名
応用物質工学専攻	8名

修業年限

2年

教育課程および修了要件

専攻科の教育課程は、教養科目、専門共通科目および専門展開科目で構成されており、専攻科を修了するためには、上記のとおり、複合型生産システム工学プログラムの修了要件を満たす必要があります。すなわち、専攻科の修了に必要な修得単位数を修得し、大学評価・学位授与機構の審査による学位を取得した上で、さらに、複合型生産システム工学プログラムが要求する教育内容および水準等の修了要件（例えば、英語の基礎的なコミュニケーション能力、特別研究の外部での発表等）を満たした場合に、はじめて本校専攻科を修了することができます。平成18年度における本校専攻科の開設科目、配当単位数および修了に必要な単位数を参考までに次の表に示します。

教養・専門共通科目

区分	授業科目	単位数	年次別配当		備考	
			1年次	2年次		
教養科目	必修	技術英語	1	1		
		技術英語	1		1	
		英語総合	1	1		
		英語総合	1		1	
		技術者倫理	2	2		
		国際関係論	2		2	
		計	8	4	4	
	選択	経営学	2		2	左記4単位の中から 2単位以上選択
		コミュニケーション論	2		2	
		文学特講	2		2	同時開講
		歴史学詳論	2		2	
		哲学詳論	2		2	
		計	10		4	
			6			
専門共通科目	必修	代数学特論	2	2		
		科学実験法	2	2		
		環境保全工学	2	2		
		信頼性工学	2	2		
		応用情報工学	2	2		
		センサ工学	2		2	
		物性工学	2		2	
		計	14	10	4	
	選択	数理解析学	2	2		左記4単位の中から 2単位以上選択
		数理解析学	2	2		
		化学総論	2	2		
		応用物理学	2	2		
		生命工学	2		2	
		情報学基礎論	2	2		
		データ処理システム	2	2		
		インターンシップ	2		2	
		インターンシップ	4		4	
		インターンシップ	6		6	
		先端技術特論	2		2	
		実践工業数学	2		2	
		計	30	12	2	
				16		

注 専門展開科目を含めすべての講義科目については、15時間の授業と30時間の自宅等における自学自習を前提に1単位として組み立てられています。

専門展開科目（電子機械工学専攻）

区分	授業科目	単位数	年次別配当		備考	
			1年次	2年次		
専門展開科目	必修	構造設計学	2	2		
		電子機械工学輪講	2		2	
		電子機械工学実験	4	2	2	
		特別研究	12	12		
		計	20	4	4	
	選択	流体力学特論	2	2		左記10単位の中から 4単位以上選択
		エネルギー移送論	2	2		
		電気理論特論	2	2		
		制御機器工学	2	2		
		生産設計工学	2		2	
		マイクロデバイス工学	2	2		左記6単位の中から 2単位以上選択
		表面工学	2	2		
		複合材料工学	2	2		
		ヒューマンインターフェイス	2		2	
		マイクロ工学特論	2		2	
		応用電子回路論	2	2		
		非破壊検査工学	2	2		
		情報通信工学	2	2		
		ディジタル通信システム	2	2		
		新素材工学	2		2	
電子線機器工学	2		2			
計	32	22	10			
教養科目（必修）開設単位数		8	4	4		
教養科目（選択）開設単位数				4		
		10	6			
専門共通科目（必修）開設単位数		14	10	4		
専門共通科目（選択）開設単位数			12	2		
		30	16			
専門展開科目（必修）開設単位数			4	4		
		20	12			
専門展開科目（選択）開設単位数		32	22	10		
			52	28		
開設単位数合計		114	34			
修得単位数	62単位以上	教養科目		必修	8単位	
				選択	2単位	
		専門共通科目		必修	14単位	
				選択	2単位	
専門展開科目		必修	20単位			
		選択	16単位以上 (教養科目及び 専門共通科目の 選択を含む。)			

専門展開科目（応用物質工学専攻）

区分	授業科目	単位数	年次別配当		備考	
			1年次	2年次		
専門展開科目	必修	応用物質工学輪講	2		2	
		応用物質工学実験	4	2	2	
		特別研究	12		12	
		計	18	2	4	
	選択	資源工学	2	2		
		有機化学特論	2	2		
		生体機能工学	2		2	
		高分子化学特論	2		2	
		有機材料工学	2		2	
		エコマテリアル	2		2	
		化学情報工学	2	2		
		組織制御学	2	2		
		移動現象論	2	2		
		分析化学特論	2	2		
		材料物理学	2	2		
		反応速度論	2	2		
		化学熱力学	2	2		
		基礎電子化学	2	2		
		相変換工学	2	2		
		分子生命科学	2	2		
材料強度工学	2	2				
応用電子化学	2		2			
細胞情報科学	2		2			
計	38	26	12			
教養科目（必修）開設単位数		8	4	4		
教養科目（選択）開設単位数		10		4		
			6			
専門共通科目（必修）開設単位数		14	10	4		
専門共通科目（選択）開設単位数		30	12	2		
			16			
専門展開科目（必修）開設単位数		18	2	4		
			12			
専門展開科目（選択）開設単位数		38	26	12		
			54	30		
開設単位数合計		118	34			
修得単位数	62単位以上	教養科目		必修	8単位	
				選択	2単位	
		専門共通科目		必修	1.4単位	
				選択	2単位	
専門展開科目		必修	1.8単位			
		選択	1.8単位以上 (教養科目及び専門共通科目の選択を含む。)			

学士の学位の取得

高等専門学校卒業生等が本校の専攻科で2年以上にわたり62単位以上を修得し、大学評価・学位授与機構の審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力を有すると認められた場合は、学士の学位を取得できます。

大学評価・学位授与機構の審査手数料・・・・・・・・ 22,000 円

入学時に必要な経費（予定額）

費 目	金 額	備 考
入 学 料	84,600円	入学手続き時に納入
授 業 料	117,300円	年額234,600円の前期分
教 科 書 代	約 30,000円	専攻ごとに別途指示

上記の他、教育後援会会費（前期分9,000円及び入会金10,000円）、諸経費積立金（前期分 12,000円）が必要です。

在学中に授業料改正が行われた場合には、新授業料を適用するスライド制が導入されます。

なお、授業料の納付については、希望により前期分の納付の際に後期分も併せて納付できます。

入寮を希望し、許可された場合は寮費等の経費半期分約4万円が必要となります。

入学料・授業料の免除

（1）入学料の免除

入学前1年以内において、入学する者の学資を主として負担している方が死亡したり、風水害等の災害を受けた場合、その他やむを得ない理由により入学料の納付が著しく困難であると認められる場合には、本人の申請に基づき、選考の上、入学料の全額又は半額が免除される制度があります。

（2）授業料の免除

経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる方、又は風水害による災害を受け、納付が困難と認められる方には、本人の申請に基づき、選考の上、授業料の全額又は半額が免除される制度があります。

奨学金制度

日本学生支援機構の規定に基づき、学業・人物ともに優れ、かつ健康であって学費の支弁が困難と認められる方に対し、本人の申請に基づき、選考の上、日本学生支援機構から奨学金が貸与される制度があります。

学生寮

入寮を希望する専攻科生のために学生寮が用意されています（ただし収容人数に制限がありますので入居できない場合があります。）。学生寮は全室個室で、便利で快適な生活ができるように、各室にインターネット、空調設備が設置され、談話室、補食室、洗濯室などの共同諸施設が整っています。浴室、食堂も完備されています。

修了後の進路実績（平成11～17年度）

専攻科修了後の進路は、大学院への進学および就職となります。最近では推薦入学制度が整備されてきており、大学院への進学希望者が増えています。また、就職する学生に対しては20倍を超える高い求人倍率となっています。

進 学 先	主 な 就 職 先	
名古屋大学大学院	旭化成	日本アイ・ピー・エム
名古屋工業大学大学院	旭電器工業	日本貨物鉄道
豊橋技術科学大学大学院	伊藤忠テクノサイエンス	ネクストウェア
三重大学大学院	オンキョーエレクトロニクス	日立エレクトロニクス
岐阜大学大学院	キャノンシステムアンドサポート	フジキン
筑波大学大学院	小島プレス工業	フルバック
横浜国立大学大学院	島津メクテム	ホンダ・エクスプレス
長岡技術科学大学大学院	シャープ	本田技研工業
金沢大学大学院	新東プレーター	前川製作所
静岡大学大学院	鈴鹿富士ゼロックス	三浦工業
京都工芸繊維大学大学院	住鋳潤滑剤	三重ゼロックス
大阪大学大学院	住友電装	三菱電機ビルテクノサービス
岡山大学大学院	ゼネラルエンジニアリング	美和ロック
広島大学大学院	ソニーイーエムシーエス	森精機製作所
徳島大学大学院	ダイソウ工業	矢崎総業
九州工業大学大学院	豊田合成	ユーエルエ・ベックス
北陸先端科学技術大学院大学	日産テクノ	リコーエレメックス
奈良先端科学技術大学院大学	日東電工	菱電工機エンジニアリング
	ニプロファーマ	
静岡県立大学大学院		
大阪府立大学大学院		
早稲田大学大学院		
鈴鹿医療科学大学大学院		
立命館大学大学院		